

第6回豊川市総合保健センター（仮称）基本計画等策定委員会会議録

日 時	令和3年12月20日 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	豊川市勤労福祉会館視聴覚室
出席委員	柳澤委員（会長）、白垣委員（副会長）、小澤委員 [*] 、鳥山委員、安東委員、小原委員、山脇委員、石川委員、豊田委員、鈴木委員、須川委員、岩村委員、増田委員、八木委員、木和田委員、小久保委員（16名） ※途中参加 【オブザーバー】 愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 坂田課長補佐
事務局	子ども健康部保健センター 【委託業者】アイテック株式会社

発言要旨等会議内容は、次のとおりです。

1 会長あいさつ

お忙しいなか、お集まりいただき感謝申し上げます。本日は、これまで検討を重ねてきた新保健センターの基本計画（案）の審議を行う。以前までは想像しにくい部分もあったが、今回は図面等もあり具体的にイメージしながら審議ができるかと思う。

現在、幸いにも新型コロナウイルス感染症は落ち着いているが、オミクロン株の懸念や、最近の地震の頻発を考慮すると、新保健センターが日常的にだけでなく、有事の際にも地域の支えになる施設になることを期待する。

2 議題

(1) 基本計画（案）について・(2) 平面プランについて

事務局 配布資料をもとに説明。

会 長 図面は一例であり、今後変更となる可能性があるが、イメージしやすかったかと思う。なにか意見や質問はあるか。

委 員 新保健センターが災害時にも市民の支えになる施設を目指すなか、南海トラフ地震等の大規模災害時には、市役所等との連携も含め、どのような運用を想定しているのか。

事務局 基本計画（案）のP41に災害時の活動内容をフェーズ毎に記載している。新保健センターは避難所としての機能は想定していないが、発災時に施設内にいる利用者の安全の確保は実施する。各フェーズの具体的な活動内容は、豊川市災害対策本部等の関係機関との情報収集、新保健センターの研修室における三師会による災害対策本部の設置及び同災害対策本部と

豊川市災害対策本部との連携による災害医療の展開、状況次第では被災者の応急手当等を想定した避難所での臨時救護所の立ち上げ、保健所等との保健活動の実施を想定している。休日夜間急病診療所については、災害時には運用を停止する予定である。

委員 実施事業の回数が記載されているが、「日本一子育てしやすいまち」の保健センターに向けて、今後、新保健センターで強化していく活動の計画や考えはあるか。

事務局 基本計画（案）の P8 に妊産婦支援機能の諸室一覧を記載しているが、実施回数欄に「※新規事業含む。」と記載がある事業に関しては、新たな教室等を検討している。

委員 休日と夜間に稼働する休日夜間急病診療所と平日の日中に稼働する健診スペースが同じ時間帯に稼働することはないため、診療所の待合や健診の待合がデッドスペースになってしまう。そうすると、人が常駐しないスペースに関しては、セキュリティの強化等も考慮しなくてはならなくなってくる。稼働時間帯が異なる諸室に関しては、互いに柔軟に使用することはできないか。

事務局 休日夜間急病診療所と保健センターエリアでは稼働時間帯が異なるものの、今回の新型コロナウイルス感染症のような感染症に備え、現時点では待合等は別途設置することを想定している。

委員 今後、さらに少子化が進むなか、子どもの存在が今以上に重要となり、子育てに悩む親が増加することが想定される。新保健センターの外構部分については、駐車場の確保も必要ではあるが、緑地を多くし、子どもたちが遊べるようなスペースを広く確保していただきたい。外構部分については、どのような検討がなされているか。

事務局 駐車場に関しては、現在調整中であるが、健康づくりの拠点施設であるため、一定の設備は備えていきたい。周辺の大型商業施設等と調整しながら、過大整備にならないよう注意していく。

会長 スペースの広さだけでなく、外構部分になにを設置するかも重要事項である。

事務局 現在、詳細は決まっていないが、健康器具等は過大整備にならないように検討していきたい。

委員 歯科医師会は、障害者の歯科診療を木曜日の午前中に実施している。平日の午前中に稼働することもあるため、保健センターエリアと休日夜間急病診療所が分かれている現状の平面図であれば対応できると思っている。また、基本計画（案）の P3 の教育・相談機能の基本方針に、「健康づくりや生活習慣病、こころの健康、食生活や栄養、歯の健康などについて」とあ

るが、令和元年に「豊川市歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定したことから、条例に合わせて「歯と口の健康」と文章を修正してほしい。

事務局 文言については検討したい。諸室の配置等については、まだ検討段階であるため、今後も相談させていただきたい。

委員 「日本一子育てしやすいまち」の保健センターに向けて、細かいことであるが、親子で使用するお手洗いや授乳室については、ベビーチェア等を設置し、母親が安心して使用できるように配慮してほしい。また、下駄箱が所々に設置されているが、靴の脱ぎ履きが多くなならないような動線を検討してほしい。休日夜間急病診療所のお手洗いに関しても、幼児のおむつ交換がしやすい動線や設備を検討してほしい。

事務局 健診エリアや休日夜間急病診療所については、基本的な動線を考慮して諸室の配置を検討しているが、詳細な設備に関しては来年度以降に検討を進めていく。

委員 職員の休憩場所等は十分に確保されているのか。

事務局 限られた面積のなかで余裕はないが、休憩室やロッカー、更衣室等の職員の福利厚生に関する諸室は最低限設置している。

委員 新保健センターでは、災害時は研修室の利用を検討しているが、例えば現在発災した場合、三師会の災害対策本部はどこに設置されるのか。

事務局 三師会に関しては出動計画が定められているが、活動する具体的な部屋は定まっていない。新保健センターの整備を機に、連携がとれるように検討を進めていきたい。

委員 補足になるが、現在発災した場合、三師会で集まる場所はなく、医師会、歯科医師会、薬剤師会が個々に運用を定めている。現状、三師会のなかでは歯科医師会館だけが距離が離れており、また災害対策本部が設置される豊川市の防災センターと医師会館が離れているが、どのように連携をとるかは検討を重ねている。

委員 災害時の連携に関しては、先日も関係者で検討を行ったが、具体的な話が始まったばかりで、決定までは至っていない。他市の事例では、同一施設内で災害対策本部と事務局が離れていることが一番の障害になっていると聞いている。現状の平面図では、医師会事務室と三師会による災害対策本部等が活動拠点とする研修室が同じフロアに配置されており、連携がとりやすく、良い案だと思う。

委員 東日本大震災時には、いわき市へ市民病院職員として派遣され、いわき市保健センターの事務室を使用した。豊川市では、DMATの活動拠点は豊川市民病院になるが、JMATの活動拠点は新保健センターになると思われる。それらを十分考慮して、研修室はある程度の広さを確保する必要がある。

ると考えている。

また、福祉・保健機能に係る諸室面積を広げられないか意見をいただいたが、なるべくコンパクトな施設整備が求められるなか、子育てに関する包括的な施設として、様々な施設や組織との連携を図ることが増えてくる。少子化が進んでも、核家族やひとり親世帯は今後も増加し、保健センターのニーズが増えることが考えられるため、今後の保健センターとしてどうあるべきかをさらに検討していく必要がある。

委員 先ほどの意見に追加で、DMATは豊川市民病院を、JMATは新保健センターの研修室をおそらく使用することになる。そのため、活動をするのに十分な広さで、情報収集のための通信機材も確保されるようお願いしている。

会長 災害時の対応については、より広い場での検討が必要かとも思う。災害時には新保健センターの外部からも支援が求められる。今後は医療だけでなく、より大きな政策が新保健センターに下りてくる可能性もある。現在だけではなく、将来的なことも見越して、より柔軟に使用できる施設になると良い。

委員 コロナウイルスの蔓延により、以前と比較して、医療廃棄物の量が増加し、医療廃棄物の保管場所が必要になっている。また併せて、感染対策用の個人用防護具等の保管スペースが年々増加している。今後、それらの量が少なくなることは想定しにくいいため、保管場所は十分に確保した方が良い。

会長 保管場所の広さについては、今後の基本設計時に検討してもらえば良い。

委員 今後の整備スケジュールがタイトであり、懸念している。今後、立ち止まりや手戻りがあると、令和7年度での竣工は厳しい。また、プロポーザル方式での発注を予定しているが、現状のしっかりした平面図であれば、入札でも十分耐えられる。どのような提案を希望し、条件を出すのか整理し、プロポーザル方式の意義を考えておいた方が良い。また、免震構造と耐震構造では、建築確認申請から許可までの期間が異なってくる。その点も考慮して、遅れないようにしっかりスケジュール管理をして欲しい。

事務局 令和7年度中に竣工できるよう、先程の意見を参考に、整備を進めていきたい。

3 その他

会長 時間も迫ってきているため、今までの追加の発言とともに、それ以外にも何か全般的な意見があれば伺いたいが、如何か。

※特段の意見なし

会 長 なにか意見があれば、事務局へご連絡いただきたい。事務局からなにかあるか。

事務局 次回の策定委員会では、今回調整中の項目に関して全て精査のうえ、基本計画案を作成し、審議いただく予定である。意見がある場合は早い段階でお寄せいただきたい。本日は多くの意見をいただき感謝するとともに、今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上